

県政特集-1 自然とふれあおう



熱心に双眼鏡やフィールドスコープをのぞき込む子どもたち(石橋町立細谷小学校)  
「子どもたちに身近にある自然を感じ取って欲しい」と指導者は話します



自然ふれあい活動指導者  
山宮喜美子さん  
藤原町土産店勤務

私の自然ふれあい活動

身近にある自然の素材を利用してかごなどを作ることが好きで、自然に興味を持ちました。自然の素材は一つひとつ形や色が違うし、季節によっても変わるためいつも新しい発見があります。昨年は自然ふれあい活動指導者として、子どもたちと一緒に木の枝などを使った小物づくりをしました。

また、仕事柄、観光に来られた方に自然を手軽に楽しめる場所などの案内もしています。多くの方に自然の魅力を知ってもらいたいですね。

**一緒に学びませんか  
人と自然のふれあい方**  
県では、自然ふれあい活動指導者を養成し、その指導者を、市町村や学校などで行われる自然観察会などに紹介しています。  
この事業を活用して、石橋町の細谷小学校で探鳥会が開かれました。子どもたちは指導者と一緒に学校近くの林や川辺に出かけました。田んぼでトラクターの後を追う「アマサギ」や、上空を舞う「オオタカ」を発見して歓声をあげました。四年生の男の子は「今日はひとつ新しい鳥の名前を覚えてよ」と笑顔。  
指導者は「子どもたちが身近な自然を肌で感じ、驚きや感動を体験することが大切。」

**森の情報発信地・塩原温泉ビジターセンター**  
塩原町にあるビジターセンターは、訪れる人に自然や遊歩道などを案内している森の情報センターです。塩原の自然についてわかりやすく展示解説したり、遊歩道の案内や、どこにどんな花が咲いているかなどの森の最新情報をお伝えしたりしています。「最近は何人かイキングを目的に訪れる人が

それが自然を守り育てる心につながると思います。私たちがそのきっかけづくりのお手伝いをしたい」と話します。  
細谷小学校の校長先生は「鳥だけでなく自然そのものに対する理解が深まっています」と効果を話しています。



塩原町大沼公園での森のコンサート

増えています。特に自然観察会などのイベントは、手軽に自然とふれあい体験ができることから人気が高まっていますね」とパークコンダクター(自然案内人)は話します。  
取材に訪れた日は、パークコンダクターの案内で樹木や花などを観察しながらハイキング。その後、森の中でコンサートが開かれ、新緑の中で贅沢な時間を過ごしました。

さあ、出かけよう  
身近にある自然へ

栃木県には、美しく変化に富んだ自然がたくさんあります。県では、このかけがえのない自然を守り育てていくためにも、多くの方に、自然の仕組みや大切さを理解していただくためと考えています。  
そのため、自然ふれあい活動を指導する人材の育成や紹介を行うほか、自然に関する情報提供の場をつくるなど、県民の皆さんが豊かな自然と気軽にふれあえる環境づくりに取り組んでいます。  
自然の楽しみ方は多種多様。樹木の名前を一つ覚えたり、野鳥のさえずりに耳をかたむけたり。これから自然に会いに出かけてみませんか。

**ロケテ**  
自然ふれあい活動指導者の紹介や養成講座について、興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

◇問合せ 県自然環境課  
TEL 028-623-3321

とちぎ  
**県民だより**  
6  
2003  
月号  
編集・発行 栃木県広報課  
平成15年6月15日発行

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20  
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160  
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 [5月1日現在]  
2,009,212人(前月比+2,546人、前年同月比+1,700人)  
◎男997,585人 ◎女1,011,627人 ◎世帯数692,514世帯  
栃木県毎月人口推計速報

**とちぎの  
豊かな自然に  
ふれてみよう**  
栃木県は数多くの自然公園をはじめ、平地林や田園が織りなす里山など、豊かな自然環境に恵まれています。県では、気軽に自然とふれあい、自然を楽しんでいたただける環境づくりに取り組んでいます。



中禅寺湖畔ポートハウス(中禅寺湖北岸)  
昭和20年代建設当時の雰囲気再現。館内には中禅寺湖の自然の紹介や休憩場所などがあります。ぜひお立ち寄りください

**来年の夏、自然公園大会を  
本県で開催します!**  
この大会は、人と自然との豊かなふれあいを推進することを目的とした全国大会です  
◎標語を募集します  
●簡潔で語調がよく、自然に親しむ大会にふさわしい標語を考えてください  
●募集期間 7月1日(火)～8月20日(水)  
●入選者には賞状及び副賞を贈呈  
●詳細はお問い合わせください  
■県自然環境課 ☎028-623-3207  
◎イベントを開催します  
①箱の森サマーフェスティバル(塩原町)  
●8月3日(日)午前10時～午後3時 定員/先着100名  
自然観察会&緑の音楽会。参加者にクワガタミシの幼虫を配ります。1年後、塩原の森にかえしましょう!  
●申込先・問合せ 塩原温泉ビジターセンター ☎0287-32-3050  
②中禅寺湖カヌー体験教室(日光市)  
●8月9日(土)午前9時～午後3時 定員/先着30名  
豊かな自然の中でカヌー技術を身につけよう!  
●申込先・問合せ 日光自然博物館 ☎0288-55-0880  
※いずれも参加申込みは7月18日(金)までに

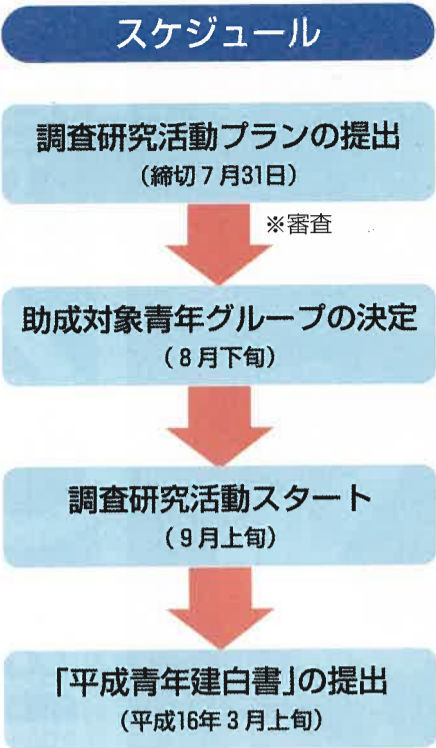
# 「平成青年建白書」にチャレンジしてみませんか

あなたのアイデアで  
「とちぎ」に新しい風をおこそう

県では、青年の自由な発想を「とちぎ」づくりに生かしていくため、今年度から「平成青年建白書」をスタートさせます。

県では、調査研究活動に必要な費用を助成するほか、「平成青年建白書」としていただいた提言を、県の施策として実現できるよう検討していきます。あなたから、「とちぎ」に新しい風をおこしてみませんか。

県民の皆さんと共に考え、力を合わせながら、新しい時代の「とちぎ」づくりに取り組んでいきたいと考えています。「平成青年建白書」は、青年の皆さんに「とちぎ」づくりに参加していただくものです。これからは「知恵の時代」です。皆さんの創意・工夫にあふれたアイデアで、「とちぎ」の風おこしと一緒にチャレンジしましょう。



## 「平成青年建白書」にチャレンジする青年を大募集!

### 応募資格

概ね18歳から39歳までの方で、県内に在住・通勤・通学する個人またはグループ

### 助成内容

調査研究活動に必要な経費として1青年グループあたり100万円を限度に助成します

### 応募方法

所定の応募用紙「調査研究活動プラン」及び「調査研究活動予算書」に必要事項を記入し、7月31日(木)までに持参・郵送・FAX・Eメールのいずれかでご応募ください  
※応募用紙は県女性青少年課へご請求ください。また、県ホームページからダウンロードできます

### あて先・問合せ

県女性青少年課 〒320-8501(※住所不要)  
☎028-623-3076 FAX028-623-3150  
E-mail jousei@pref.tochigi.jp

### 調査研究のテーマは自由です!

#### 例えば...

- ◆人に優しいIT社会づくりについて
- ◆県民の社会貢献活動への参加促進の具体策
- ◆高齢者が安心して地域で生活できる「支え合う地域社会づくり」のための具体的活動
- ◆中心市街地の活性化について
- ◆青少年に魅力ある就農環境づくりについて
- ◆生活に取り入れたい木のあるデザインと木を使う取組方法
- ◆青年のまちづくり活動の参加促進について
- ◆地域における犯罪を防止するための青年の役割 …など

※栃木県全体で施策化できるものや、栃木県の優れたところを活かしていく内容・方法で調査研究してください

## “とちぎ”の人づくりに みなさんの力を

～奨学金制度の拡充にご協力ください～

### 県民のみなさんからの 寄付金を募集しています

県では、財団法人栃木県育英会(※)を通じ、奨学金の貸付を行うなど、夢や希望の実現のために学びたいと願う若い皆さんの自立を支えてきました。

平成十三年度からは、大学等に進学する方のための奨学生枠を拡大するなど、制度の拡充に取り組んできたところです。しかし、長引く不況のなか、奨学金制度への県民の皆さんのニーズは年々高まる一方です。

そこで、奨学生の枠をさらに拡大するために、その資金となる寄付金を県民の皆さん

### 奨学金貸与制度(大学等)とは…

- 大学等に進学を希望する学が意欲のある方に、無利子で奨学金を貸し付ける制度です。卒業後に一定の期間で返還していただき、後輩の奨学金として活用される仕組みになっています。
- 貸与額 月額38,000円(自宅外通学)  
30,000円(自宅通学)

奨学生枠を1名分拡大するためには、約180万円の資金が必要です。未来の“とちぎ”を担う若い皆さんの自立を応援するために、ぜひ、寄付募集にご協力ください。

多くの皆さんのご協力をお待ちしています。

※(財)栃木県育英会  
昭和31年設立。寄付金や県からの助成金で奨学金の貸付や学生寮(東京)の運営をおこなっています。

### 夢実現に向けて、 世界が広がりました!

この春、奨学金制度を活用し大学に進学した皆さん。「奨学金制度があって大変助かっています。大学では勉強のほかにも、いろんな人たちとの出会いがあり、自分の世界が大きく広がりました。少しずつ成長していきたい」と話します。夢は警察官や商品開発デザイナー。夢に向かって一歩を踏み出しました。

寄付金の  
振り込み用紙は  
各市町村教育委員会  
各県民センター・  
県民相談室に置いて  
あります

問合せ (財)栃木県育英会  
☎028-623-3459



# 6月15日は県民の日です

今日は、「栃木県」の百三十回目の誕生日

明治六年六月十五日、当時の宇都宮県と栃木県が一緒になり、ほぼ現在と同じ栃木県が誕生しました。栃木県では、この日を記念し「県民の日」と定めています。あらためて、ふるさと「とちぎ」を見つめ直してみませんか。



## ご存じですか。「とちぎ」のシンボル

栃木県では、ふるさと「とちぎ」を象徴する花・木・鳥・獣を県のシンボルとしています。さあ、あなたはいくつ答えられますか？(答えは欄外に記載)

### 花

この花は、那須高原や塩原、日光などを中心に県内の山地に広く分布しているツツジ科の落葉低木。ピンクや白、濃い赤紫のものがあり、4月から5月にかけて咲き「とちぎ」の春を彩ります。



### 木

この木は、その名前から郷土の木として古くから親しまれています。葉は手を広げたような形をしていて、5月頃に白やピンクの優雅な花を咲かせます。その実は粉末にして餅や団子の材料にも。



### 鳥

この鳥は、その高く澄んだ美しい鳴き声で「ウグイス」「コマドリ」とともに日本三鳴鳥の一つに数えられています。5月頃南方から日光、塩原、那須などの渓谷へ渡ってきます。オスは美しい瑠璃色。



### 獣

この動物は、シカよりやや小さく、オス・メス両方に短い角が生えています。県内では北西部山地の奥深くに棲み、草や木の葉などを食べます。特別天然記念物にも指定される、ウシ科の動物。



## とちぎ学・豆知識

### 県名の由来

「栃木」という県名は、本県最初の県庁所在地「栃木町(現栃木市)」に由来しています。この地名の語源には次のような様々な説があります。

### 【トチノキ説】

その字のとおり、トチノキが多く生えていたからという説。

### 【十千木(とおちぎ)説】

栃木町内に神明宮という神社があり、この屋根にある2本の千木(ちぎ)と8本の鯉木(かつおぎ)が、遠くから見ると10本に見えたことから、この周辺を「十千木(とおちぎ)」と呼ぶようになったという説。



神明宮(栃木市)

### 【崩壊地名説】

栃木市内を流れる巴波川は、かつて、たびたび氾濫を起こしたことから、崩壊を表す「チギ(る)」に接頭語の「ト」が付いたとする説。

## 暮らしに結びついた豊かな自然は財産



絵本作家 いわむらかずおさん

私の暮らす八溝地域には、都会では少なくなった里の自然が豊かに残されています。私の描く絵本はこの八溝の自然が舞台。特別なものではないけれど、人々の暮らしや農業と結びついた穏やかな里の姿は、日本人にとっての原風景だと思います。

里山には様々な生きものがくらししています。身のまわりの小さな植物や動物をよく見てほしい。「いのち」の営みにふれることは、生きることの大切さを学ぶ大きな力になると思います。こうした里の自然が豊かに守られていることは誇れる財産。私たち自身がその良さに気づき、愛し、生かしていくことだと思います。地域の人々が気持ちよく暮らせるまちづくりをすることが、よそから訪れる人々にとっても魅力的な場所になるのだと思います。

子どもたちに絵本を読みいわむらかずおさん

### プロフィール

東京都生まれ。1975年益子町に移住。代表作に「14ひき」シリーズほか。その作品は、海外で広く翻訳され世界の子どもたちに親しまれている。1998年馬頭町に「いわむらかずお絵本の丘美術館」を開館。とちぎ特使。

## ふるさと「とちぎ」を語る

## ふるさとは、私のエネルギー源です

オペラ歌手 **大貫 裕子**さん



オペラ「美女と野獣(6/21公演)」の稽古で

時間があれば、週に一度は鹿沼に帰りリフレッシュしています。ふるさは私にとって一番心やすらぐ場所。豊かな緑や鳥の声、澄んだ空気の中だと「明日もがんばろう」という力が満ちてきます。

私の学生時代には「文化不毛の地」といわれた栃木県も、今では総合文化センターができ、新進音楽家コンクールが開かれ、オペラづくりにも挑戦しています。コンクール入賞者には出演依頼などのバックアップもあり、仲間から「栃木っていいね」といわれるんですよ。素晴らしいことだと思うし、これからも続けてほしい。秋には学校訪問演奏会で県内の小中学校をまわります。子どもたちとふれあえるのを楽しみにしています。

### プロフィール

鹿沼市生まれ。第6回ニコドスタル国際オペレッタコンクール(オーストリア)第3位、第1回コンセルマロニエ21優秀賞を受賞。国内外のオペラに出演するほか、コンサート活動にも活躍。東京都在住。とちぎ特使。

## カラダにとちぎ

http://www.tochigipower.com/

### 今月のおいしい食材

#### ねぎ

栃木県は江戸時代からのねぎの名産地。栃木のねぎはやわらかく甘いのが特徴。特に「那須の白美人」はサラダで食べられるほどの甘さです。おいしいねぎの見分け方は、白い茎が良く締まって弾力があるものを選ぶこと。新鮮でおいしい栃木のねぎをたっぷり使って、どんぶりものを作ってみてはいかがでしょうか。

### とちぎのねぎを使って ねぎと豚バラ丼



〈材料〉(2人分)  
長ねぎ2本、豚バラ肉200g、にんにく・しょうが各1かけ、ごま油大さじ1、タレ(白ごま・黒いりごま各大さじ1、味噌大さじ1、みりん大さじ1、酒大さじ2、砂糖大さじ1/2、醤油少々)、塩・こしょう各少々、ご飯

#### 〈作り方〉

- ① 豚バラ肉は一口大、長ねぎは斜め切り、にんにく・しょうがはみじん切りに。
- ② フライパンを熱してごま油をひき、にんにく・しょうがを弱火で炒める。香りが出たら豚肉を広げながら入れて強火で焼き、塩・こしょうをふる。豚肉に完全に火が通ったらねぎを入れ、しんなりしてきたら合わせておいたタレを炒め合わせる。
- ③ どんぶりにご飯を盛り、その上から②をかける。お好みで一味唐辛子としば漬を。

協力: (株)とちぎ農産物マーケティング協会

### 地産地消 地元の恵みを地元で食べよう!



アンコール曲「おさんぽ」を田口美里さん(ヴァイオリン)らの演奏にあわせて一緒に歌う子どもたち



県内の市町村長が一堂に会し、県と当面の課題について意見交換を行いました

### 不法投棄ハトロール出発式



隊員たちは「不法投棄根絶を目指します」と力強く決意を表明しました

Topics 1 音楽つてすばらしい! 学校でこんにちは!

Topics 2 市町村長会議を開催

Topics 3 不法投棄を未然に防ごう

## 県政トピックス

五月十六日、学校訪問演奏会が上三川町立明治小学校で行われました。これは、新進音楽家演奏会「コンセル・マロニエ21」の入賞者に演奏の場を提供するとともに、子どもたちに音楽の素晴らしさを知ってもらおうと今年から始めました。今年度は県内の小中学校二十校で開催される予定です。

五月二十三日、平成十五年度第一回市町村長会議が県公館で開催されました。会議では、県から市町村合併や「とちぎ将来構想」などについて説明。市町村に理解と協力を求めました。また、市町村からは支援費制度の支援拡大や、乳幼児医療費助成の現物支給などについての要望が出されました。

六月二日、不法投棄防止のため市町村監視員など総勢百六十名からなる「不法投棄パトロール隊」の出発式が行われました。隊員たちは福田知事から激励をうけ、一斉に巡回監視に出発しました。また、不法投棄の監視体制を強化するために、衛星を利用して廃棄物のゆくえを追跡する「廃棄物処理検証システム」を今月から試験的に導入しています。



レンゲツツジ(ツツジ科)

戦場ヶ原の初夏はレンゲツツジの赤とワタスゲの白で飾りつけられます。早朝、もやが掛かるとウエディングドレスのベールのような。本種は馬や牛も食べないので牧場にもいっぱいいます。

ウォッチングポイント

那須町八幡温泉前の群落は全国的にも有名。八方ヶ原や霧降高原など湿った草原で見られます。6月下旬まで。



やさしい草木染め(成人向け)

- 県文化財下田邸で藍染めを体験
● 7月5日(土)～6日(日) 1泊2日
● 定員 30名
● 参加費 7,000円
● 申込締切 6月27日(金)
● 問合せ 芳賀青年の家 ☎0285-72-2273

虫の探さく 親子のつどい

- 昆虫採集や標本づくりにチャレンジ
● 7月12日(土)～13日(日) 1泊2日
● 定員 先着100名
● 参加費 大人3,200円 子ども2,500円
● 申込締切 6月28日(土)
● 問合せ 南那須少年自然の家 ☎0287-88-9341

山の子・海の子交流キャンプ

- 茨城のお友達と一緒に地引き網体験やカヌーなどを楽しもう
● 8月4日(月)～6日(水) 2泊3日
● 対象 小学4年～6年生
● 定員 150名
● 参加費 10,300円
● 申込締切 7月9日(水)必着
● 問合せ とちぎ海浜自然の家 ☎0291-37-4004(茨城県旭村)



とちぎ花センター「水辺の植物展」

- 期間 7月13日(日)まで
● 入館料 大人420円 子ども210円
● 問合せ とちぎ花センター ☎0282-55-5775

「なす高原自然の家(仮称)」にすてきな愛称をつけてください!

大自然のなかで自然体験や創作活動ができる施設です。来年度オープンします!



- 応募方法 愛称とその理由、住所・氏名(フリガナ)・年齢・性別・職業(学年)・電話番号を記入し、郵送・FAXで
● 応募締切 7月31日(木)
● 最優秀賞1点、優秀賞3点
● あて先・問合せ 県生涯学習課 〒320-8501※住所不要 ☎028-623-3409 [FAX]028-623-3406

文化情報 子ども総合科学館
宇都宮市西川田町567
☎028-659-5555 ●月・第4木曜

- 一般向けプラネタリウム新番組「火星への挑戦～今世紀地球に最接近～」
● 企画展「舟越桂展」
● 企業展「舟越桂展」
● 企画展「舟越桂展」

文化情報 県立美術館
宇都宮市桜4-2-7
☎028-621-3566 ●月曜日

- 企画展「舟越桂展」
● 企画展「舟越桂展」
● 企画展「舟越桂展」

文化情報 県立博物館
宇都宮市睦町2-2
☎028-634-1312 ●月曜日

- テーマ展「栃木のカエルとサンショウウオ」
● 県中央公園の植物観察会
● 体験学習「七夕飾りを作ろう」

文化情報 県総合文化センター
宇都宮市本町1-8
☎028-643-1010

- コンサート・エレガンス2003
● 四代目尾上松緑襲名披露
● 松竹大歌舞伎公演



夏に向けて、節電にご協力ください! エアコンの温度設定は適切に。また、こまめに消灯するなど、電気は大切に使いましょう

募集・催し
外国人も暮らしやすい地域づくりについて意見や提案をいただける外国人アドバイザーを募集します

詳しくは県国際交流課 ☎028-623-2198へお問い合わせください

県シルバー大学校第24期生募集
● 対象 県内在住の60歳以上の方
● 学習期間 10月～平成17年9月

栃木県芸術祭文芸賞作品募集
● 皆さんが創作した文芸作品をお寄せください。優れた作品に賞をお贈りします

なす風土記の丘資料館小川館の催し
● 体験講座 埴輪づくり
● 夏休み考古学教室①縄文土器をつくろう

パーティ(とちぎ女性センター)の催し
● パネル展「女性の政治参画と市川房枝」
● パルティ出張セミナー

マロニエサテライトセミナー
「宇宙」その不思議な世界
● 8月27日(水)午後2時開演

講座・試験

傷病野生鳥獣保護ボランティア講習会
● 6月29日(日)午後1時30分～

高齢者の就業のための講習会
● 対象 60歳代前半の求職者

看護職再スタートのための研修会
● 7月14日(月)午前9時30分～午後1時

全国性教育研究大会
● 8月6日(水)～8日(金)

経営実務研究会
● 経営健全化セミナー～事業再構築への道～

火薬類取扱(甲種・乙種)保安責任者・製造(丙種)保安責任者試験
● 8月24日(日) 県立宇都宮工業高校

毒物劇物取扱者試験
● 8月22日(金) 県衛生福祉大学校

職業訓練指導員(資格取得)試験
● 8月22日(金) とちぎ女性センター

案内

重度身体障害者情報バリアフリー化支援事業のお知らせ
● 視覚または上肢に重度の障害がある方が、パソコン使用に必要とする周辺機器やソフト等の購入費用の一部を支給します

「県政出前講座」をご活用ください!
● 教育や福祉、環境など様々なテーマについて県職員が出向き説明します

福祉のしごとと移動相談会
● 6月21日(土)午前10時30分～午後3時

とちぎの木で住宅をつくろう! 県産スギ材を30名にプレゼント
● 今年度中に県産材を使用して木造住宅を建築する方に県産スギ材(柱80本以内または内装材70㎡以内)をプレゼントします

information とちぎテレビ
県の広報番組
コースアップとちぎ
6月15日 中小企業融資制度

なるほどとちぎ
6月21日 教えて! グリーンツーリズム
28日 県民の日スペシャル(芳賀町)

とちぎ教育新事情
6月21日 訪ねてみよう とちぎの文化財～壬生町編～
28日 やってみよう 誰かのためにしたいこと・できること